

2012年2月12日

中国電力株式会社
社長 荻田知英 様

さよなら島根原発大集会参加者一同

2011年3月11日の東日本大震災による事故で、福島第一原発から大量の放射性物質が放出されました。避難した人々はいつ帰宅できるかもわからない不自由で不安な生活を強いられています。いまでも漏れ続ける放射性物質は広く拡散して水・大地・海・空を汚染し、子どもたち、妊婦をはじめ多くの人々の健康被害が懸念されていますし、特に農林畜産業、漁業などの第一次産業に極めて深刻な影響を及ぼしています。

これまで、貴社をはじめ、電力各社が唱えてきた「原子力安全神話」は、完全に崩壊しました。事故の一刻も早い収束とともに、これまでの原子力行政の転換、原発の新增設の中止、既設原発の即時停止と核燃料サイクル計画の中止が強く求められています。

島根原発は、30キロ圏内に46万人が居住しており、一旦事故が起きれば大惨事になる可能性があります。現在、1号機は点検の不正事件から運転を停止し、2号機は1月27日から定期点検に入って、原発の運転はありませんが、中国地方の電気は十分にあまっています。定期点検終了後の運転再開の必要は全くありません。

わたしたちは、貴社に対して下記の事項について申し入れます。

記

- 1、欠陥原子炉マークI型で、営業運転から38年が経過して老朽化した島根原発1号機を直ちに廃炉にして下さい。
- 2、1号機と同じく欠陥原子炉マークI型の2号機を廃炉にして下さい。
- 3、建設中に制御棒駆動機構のトラブルで試運転開始が1年近く延期されている3号機の建設を中止して下さい。
- 4、上関原発の建設計画を中止して下さい。

以上